

多高通信

第230号 令和6年12月26日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

仙台大学との

「連携協力に関する協定」締結

令和6年10月1日(火)に、本校において仙台大学と本校との「連携協力に関する協定」を締結しました。災害分野において両校が相互に協力し、学術研究や学校教育の振興、さらに地域社会の発展や人材育成に寄与することを目的としています。特に昨年度は本校災害科学科の多くの生徒が仙台大学で防災士養成講座を受講し、将来の活躍に向けて防災士の資格を取得しました。今後も防災士を有する災害科学科生徒が増加することで、地域課題の解決に向けて高い知見を持って活動できるように、地域の自助・共助の意識を更に向き上させるなど、地域のウェルビーイングの向上を目指します。締結式には仙台大学 高橋仁学長様、鈴木秀俊副学長様、宮城県教育庁保健体育安全課大宮司明倫課長様が列席され、本校からは小野敬弘校長、佐々木芳恵教頭、伊東秀輝教頭、佐藤寿正主幹教諭、石山俊太災害科学科長が出席し、協定書を取り交わしました。



災害科学科 「浦戸巡検」を実施しました!

10月10日に、露頭見学や試料採取に適した県内外のフィールドにおける、地学・生物分野の観察調査の野外実習を通して、私たちが取り組む地球環境を理解することを目標に浦戸巡検を実施しました。巡検前に、国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門上席研究員(シニア)の田村芳彦様より事前講義をいただき、浦戸諸島の地層について学習しました。地学班はクリノメーターを用いて地層の走向・傾斜を計測し、背斜構造・向斜構造の考察をしました。生物班は、コドラート調査を行い、2年前との植生の変容を考察しました。また、事後学習では、一般社団法人浦戸自主航路運営協議会理事長の内海春雄様より浦戸諸島の東日本大震災発災時の状況についてご講義いただきました。



「普通科フィールドワーク・災害科学科浦戸巡検合同発表会」を実施し、プレゼン形式で普通科と相互にまとめを発表する活動を行いました。

■ 生徒の感想 災害科学科1年 緑川瑠桜

島などの栄えた場所から離れた場所に災害が起きた時、支援が行き届くのが遅く苦労したということを感じました。私たちが若い世代の支援はとても大きな力になると学びましたが現地に行くと助けることが難しい時、募金活動やメッセージを送ったりして勇気づけられる人になりたいと思います。

た。簡単に剥がれる地層は風化が原因だと学んだので、露出している地層が近くにある時に地震が起きたら土砂崩れが起きる前にその場から離れて安全を確保できる行動をしたいと思います。



吹奏楽部

マーチングコンテスト全国大会出場!

■ 2年1組 五十嵐凜子(仙台市立錦ヶ丘中出身)

11月17日(日)に

大阪城ホールで行われた第37回全日本マーチングコンテストにて、銅賞を受賞しました。自分たちが目標にしてきた全国大会への出場ができ、夢の舞台で自分たちの創ってきた演奏演技を披露することができました。本番は、大勢の方々の前で、仲間と心をつなげて音楽を作れた喜びは一生忘れることのない素晴らしい体験でした。このような貴重な時間を過ごすことがで



きたのは地域の方や、保護者の皆様などの応援してくださる全ての皆様のお陰です。今回の全国大会を通して学んだことを、これからの活動に生かしていきたいと思えます。今後とも多賀城高校吹奏楽部の応援よろしくお願い致します。

サッカー部

新人大会で奮起!

- 一回戦 対 仙台向山 2-0 勝
- 二回戦 対 利府 3-2(延長) 勝
- 三回戦 対 仙台城南 1-1(PK5-4) 勝
- 準々決勝 対 二華 1-0 勝
- 準決勝 対 東北生文大高 0-2 敗
- 第三代表決定戦 対 明成 2-2(PK2-4) 敗

【第三位入賞】

多くの保護者、生徒、卒業生、関係者の応援、サポートのおかげで最終日までサッカーをすることができました。東北大会には手は届きませんでした。この機会を通して生徒は大きく成長しました。この悔しさをさらなる向上心に繋げていきます。応援ありがとうございました。

